

2026(令和8)年度 前期入学試験 小論文

次の文を読み、問いに答えなさい。

トラウマを負った被害者が回復し、自立した生活を取り戻していく際に、「エンパワメント」が重要であるということはよく知られている。「エンパワメント」とは、その人が本来もっている力を思い出し、よみがえらせ、発揮することであって、だれかが外から力を与えることではない。けれども忘れていた力を思い出し、自分をもう一度信じてみるためには、周囲の人びととのつながりが欠かせない。

とくにわたしが多くかかわってきたドメスティック・バイオレンス(DV)の被害者は、関係の最も深い他者から、暴力やおとしめによって長期間自分の価値や能力を否定されてきた。そのマインドコントロールの罟と、長いあいだ追いやられてきた孤独の闇から抜け出すには、自分の幸せを祈ってくれる「だれか」がかならず必要である。

DV被害者は、配偶者から離れ、暴力から逃れられれば、それで幸せになれるというわけではない。被害者の自立とは、大きな喪失の過程でもある。いままでの生活世界、人とのつながり、温かい家庭を築くという夢、子供の教育、老後の人生設計、愛や親密性をはぐくむ自信、世界は安全だという基本的信頼感。それらがすべて奪われる。

それらの喪失を認め、受け入れることは、新たな生活に向かうために必要だが、けっしてたやすくはない。けれども、幸せを心から祈ってくれる「だれか」がいれば、被害者自身も幸せになりたいと願いつづける勇気、なれるかもしれないという希望をとりもどすことができる。

宮地尚子『傷を愛せるか』より

DV：配偶者や恋人などの親密な人による暴力のこと

問1. 「エンパワメント」とは、どのようなものですか。具体的な例をあげながら、250字以内で、書きなさい。

問2. 被害者は、心から祈ってくれる人と出会ったとき、生きる勇気や希望をとりもどすことができますが、それはなぜですか。250字以内で書きなさい。